

# 令和4年度第2回水戸市立博物館協議会

日時 令和5年2月17日（金）

午前10時から

場所 水戸市立中央図書館

3階視聴覚室

## 議 題

### 1 報告事項

- (1) 企画展「夏休み子どもミュージアム いのちのかたち 彫刻家・木内克のまなざし」の結果について
- (2) 特別展「昭和ラブソディ 一杯の珈琲を飲みながら」の結果について
- (3) 令和4年度博物館事業の実施状況について

### 2 協議事項

- (1) 特別展「那珂川ヒストリー ー水と共に生きた人々ー」の開催について
- (2) 令和5年度博物館の主な事業計画（案）について

### 3 その他

※ 閉会後に、特別展「那珂川ヒストリー ー水と共に生きた人々ー」の会場をご案内します。

## 水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期：令和4年7月15日～令和6年7月14日)

	氏 名	役職等
委員長	桐原 幸一	茨城生物の会副会長
副委員長	笹目 礼子	県立歴史館特任研究員
委員	川田 寛子	市学校長会代表・柳河小学校校長
委員	河原 将子	市文化振興協議会副会長
委員	中庭 忠	水戸商工会議所副会頭 (任期：令和5年2月3日～令和6年7月14日)
委員	村山 朝子	茨城大学教育学部教授
委員	安嶋 隆	茨城生物の会副会長
委員	小坪 のり子	県弘道館事務所学芸員・主任研究員
委員	添田 仁	茨城大学人文社会科学部准教授
委員	玉川 里子	学識経験者
委員	塚原 正彦	KCB ビジネスカレッジ教授, みんなのミュージアムうしおくる館長
委員	林 圭史	県立歴史館主任学芸員
委員	藤 和博	県立歴史館学芸課長代理兼首席研究員
委員	藤本 陽子	学識経験者
委員	土田 記代美	市議会代表

(順不同・敬称略)

### 事務局名簿

氏 名	役職等
小川 邦明	水戸市教育委員会事務局 教育部 歴史文化財課長
鈴木 雅人	同課 水戸市立博物館長 (自然部門担当)
平澤 尚子	同課 水戸市立博物館 学芸係長
中村 有紀子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (美術部門担当)
藤井 達也	同課 水戸市立博物館 学芸員 (歴史部門担当)
坂本 京子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (民俗部門担当)
平井 佐知子	同課 水戸市立博物館 会計年度任用職員

## 報告事項(1) 企画展「夏休み子どもミュージアム いのちのかたち 彫刻家・木内克のまなざし」の結果について

### 1 概要

水戸出身の彫刻家・木内克(1892～1977)は、日本を代表する作家として知られる。裸婦像を数多く制作したほか、猫や馬など生き物をモチーフとした作品も制作し、力強さと柔らかさを併せ持った大らかな作風が特徴である。

本展は、木内克の作品を数多く鑑賞し、その独自の表現の世界に触れることを通して、子どもたちに、命あるものの形を捉える自由な視点を感じてもらうことを目指した。当館所蔵(寄託資料を含む)のブロンズ像23点、テラコッタ19点、デッサン5点、石膏像1点の合計48点を展示したほか、作者肖像写真や制作の風景等の写真パネル24点(うちパネル借用20点、画像のみ借用3点)を展示した。同時に会場内で、木内克を取り上げたドキュメンタリー3本の上映も行い、制作の様子や作者の言葉を映像によっても紹介した。

展示全体を通して、モデルの形を写すことに終始せず、その先にある生命そのものを表現しようとした木内克の姿を伝え、木内克の存在と彫刻そのものへの関心を高める機会を提供できた。

### 2 会期

令和4年7月23日(土)～8月28日(日) 合計32日間(休館日を除く)

### 3 主催及び会場

水戸市立博物館

### 4 入場者数

914人

(入場者数内訳)	一般	597人
	小・中学生	204人
	高校生	0人
	幼児	80人
	65歳以上	32人
	障害者等	1人

## 5 関連行事実施結果

### (1)「わくわく金属彫刻～小さいけど重い!!」

木内克の作品にはブロンズ像も多数存在することにちなみ、専門家の指導の下、金属彫刻の作品制作に挑戦した。粘土で原型制作、石膏で型取り、金属(錫)の流し込みといった実際の制作と同じ工程を体験することで、彫刻への関心を高めてもらう機会となった。

実施日時：令和4年7月31日(日) 13時30分～16時 (かたちづくり)

8月7日(日) 10時～12時 (金属流し込み)

定員：20名(小学生とその保護者、2日間参加)

会場：3階視聴覚室

講師：北沢 努(彫刻家)

参加者数：46名(7月31日23名、8月3日23名)

### (2)「風船たまご作り」

小さな風船の表面に水溶き糊で色紙を貼り付け、たまごの形の紙張り子を制作した。

風船を取り除くと中が空洞の張り子が出来上がるため、テラコッタやブロンズの作品も中が空洞であることと関連付け、展示中の作品に対する理解を深める機会とした。

実施日時：令和4年8月3日(水)・20日(日)・24日(水)・28日(日)

各日11時～12時/14時～15時

定員：各回20名(未就学児は保護者同伴)

会場：3階視聴覚室

講師：職員

参加者数：136名(8月3日41名、20日24名、24日35名、28日36名)

## 6 アンケート集計結果 (回答者数：49人)

### (1)この展覧会を何でお知りになりましたか。(複数回答)

ア ポスター	6人
イ チラシ	16人
ウ 広報みと	4人
エ ホームページ	5人
オ SNS (ツイッターなど)	2人
カ 新聞	1人
キ 雑誌・タウン誌	2人
ク テレビ・ラジオ	1人
ケ 人から聞いて	3人
コ 博物館・図書館に来てみて	20人
サ その他 (サークル活動/散歩)	2人

(2)①今回の展覧会の内容について、どう感じましたか。

ア よくわかった	24人
イ だいたいわかった	15人
ウ 普通	6人
エ 少し難しかった	4人
オ 難しかった	0人
無回答	0人

(2)②この展覧会の満足度を教えてください。

ア 満足	33人
イ やや満足	9人
ウ 普通	7人
エ やや不満	0人
オ 不満	0人
無回答	0人

(2)③この展覧会に対する意見や感想をお聞かせください。(一部抜粋)

- ・ 木内克の作風や人間性が垣間見えてとても面白かった。
- ・ 写真を撮れたり、近くで作品を見ることができたりして、よかった。
- ・ 脈拍を感じるくらい、リアルな彫像だった。
- ・ 近くで見る程躍動感が伝わる作品が多く、よかったと思う。
- ・ 女性の身体を正確に捉える作者の能力もすごいと思ったが、身体のパーツを時には余計なものとして省くセンスに最も魅力を感じた。作品だけでなく制作の過程がビデオや写真で知れたことでより作品への理解を深めることができた。
- ・ 今までは「木内克＝テラコッタ」という印象だったが、彼の事が良く分かった。デッサンも素晴らしい。
- ・ 作品はほとんど見ていたが、制作現場は見たことがなかったので、映像によって制作態度が分かって感動した。
- ・ 木内克の名前は知っていた。今回の展示で“生命そのものを表す”という方向性を知って作品鑑賞に深みを持たせることができるようになった。作品を間近で見られて、心が動いた。
- ・ 木内克の作品は時代ごとに色々と変化して、ギリシャヨーロッパ、スペイン、エジプト、近代、ロダン、抽象的なものなどあると思う。デッサンで好きなもの(近代的なもの)があった。この展示で抽象的な作品を理解できた。
- ・ 東海村にある作品も見直したい。
- ・ 水戸市内に作品の置かれた所が有るか、知りたかった。

- ・ 郷土の芸術家について知ることができ、ためになった。テラコッタの作り方のパネルも分かりやすかった。もう少し作品の数が多いと見応えがあったかと思う。
- ・ 初めて彫刻家の展覧会を見たが、楽しかった。
- ・ 近代美術館で作品を見て木内克を知り、来館した。水戸市の子どもたちも、今はそんなに興味がなくても大人になって「あの夏休みに、博物館で見た」と思い出して、「こういうの好き」と思うかもしれない。若い人、小さい人に、見てほしいと思った。大人も。
- ・ 入場料が無料で、気軽に入ることができた。
- ・ 展覧会についてほとんど何も知らないまま来たが、焼き物のあたたかさが感じられた。展示も見やすかった。
- ・ 猫がいいと感じた。
- ・ 作品の動から静への歴史が見てとれた。

### (3)今後開いてほしい展覧会について

- ・ 化石関係
- ・ コケ・シダ
- ・ 盆栽
- ・ 水戸の古代の様子
- ・ 水戸の歴史
- ・ 藩府に関する展覧会
- ・ 佐藤忠良
- ・ 納豆の歴史
- ・ 水戸城
- ・ 十河雅典展
- ・ 現代美術
- ・ 水戸出身の作者の展覧会
- ・ 後藤清一
- ・ 森山朝光
- ・ 今後も水戸にゆかりのある人物の展覧会を開催し続けてほしい。

### (4)①今まで水戸市立博物館に来たことはありますか。

ア よく来る	8人
イ 何度か来たことがある	18人
ウ あることは知っていたが来たことはなかった	11人
エ あることを知らなかった	10人
無回答	2人

(4)②博物館の魅力度についてどう感じましたか。

ア 魅力的	18人
イ やや魅力的	13人
ウ 普通	12人
エ やや魅力不足	1人
オ 魅力がない	0人
無回答	5人

(4)③博物館の全体的な展示，施設，運営などについて，ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。

- ・ 色々な催しやワークショップ等(の開催)をお願いしたい。
- ・ (展覧会を)無料で出来るのはすごいと思う。
- ・ 駐車場もあり遠方より来る人達にはありがたい。
- ・ (展覧会関連行事の)水風船作りが楽しかった。簡単にできるのがとても良い。
- ・ 今回，観覧料が無料でびっくりした。
- ・ 楽しかった。
- ・ もう少し照明を落とすなどすれば，より作品の魅力が増すかもしれない。
- ・ 来たら楽しいし，面白いのに，なぜかあまり来ない。なぜか。インフォメーション不足かもしれない。
- ・ PRをもっとしてほしい。
- ・ 入りにくい。図書館との区別(が分かりづらい)。
- ・ 来場者が少ないように思う。
- ・ 展示のご苦勞の割に入館者が少ない。
- ・ 駐車場が少なく，止めづらい。
- ・ 水戸のみでなく，茨城県の彫刻家も取り上げてほしい。
- ・ 作品を見ている時に，スタッフらしい方数名が話をしていたのは少し残念だった。
- ・ 良く活躍していると思う。

(5)①お住まい

【県内】 38 人

・水戸市内	24人
・日立市	1人
・ひたちなか市	4人
・那珂市	2人
・東海村	1人
・茨城町	1人
・石岡市	1人
・笠間市	1人
・つくば市	1人
・かすみがうら市	1人
・古河市	1人

【県外】 11 人

・東京都内	2人
・朝霞市	1人
・仙台市	1人
・弘前市	1人
・無回答	6人

(5)②水戸市立博物館へはどのような交通手段を使って来ましたか。(複数回答)

ア 電車	7人	カ 自転車	7人
イ バス	3人	キ 徒歩	8人
ウ 自家用車	23人	ク その他	0人
エ タクシー	0人	無回答	2人
オ バイク	1人		

(5)③性別

男 性 26人

女 性 16人

無回答 7人

(5)④年齢

9歳以下	2人	50代	7人
10代	7人	60代	9人
20代	5人	70歳以上	9人
30代	3人	無回答	2人
40代	5人		

## 報告事項(2) 特別展「昭和ラブソディ 一杯の珈琲を飲みながら」の結果について

### 特別展「昭和ラブソディ 一杯の<sup>こーひー</sup>珈琲を飲みながら」結果報告

#### 1. 開催の趣旨

昭和40年代は高度経済成長期のピークを迎え、水戸市民の生活にも大きな変化が生じた。街中では小規模な店舗とともに百貨店やスーパーマーケットが並び立って、大変な賑わいを見せ、市民の憩いの場所であった喫茶店も急速に増えていった。

展覧会では、水戸市内で初めて開業したスーパーマーケットは、どのような経緯で開業したのか、その軌跡を追う。また当館に寄贈されたマッチ箱から秘められた水戸の小さな歴史を紹介するとともに、かつて賑わった水戸の中心商店街を商店のオリジナルイラストや広告とともに振り返る。

2. 期間及び休館日 令和4年10月22日(土)～11月27日(日) 32日間

休館日 月曜日

・ハッピーホリディ(土日曜日・祝日)

来館者が子供(高校生以下)を一人同伴の場合、大人1人無料

・黄門まつり応援ウィーク 11月1日～11月4日 全館に入場無料

3. 入館者数 **5,931人**

図録頒布数	昭和ラブソディ Aセット(図録+上市)	1000円で頒布	
〃	Bセット(図録+下市)	〃	合計 92冊
〃	Cセット(図録+上市+下市)	1500円で頒布	
			合計 184冊
			総計 276冊

#### 4. 関連行事

関連行事の内容は、昭和を知らない世代にも展覧会をアピールできるものを用意した。コンサート以外は、1日につき午前と午後の2回の開催とした。

※コンサート以外の各講座は、午前、午後の開催を予定。

- |              |                                  |           |            |
|--------------|----------------------------------|-----------|------------|
| ・貝がら水族館      | 10月22日(土)、11月6日(日)               | 講師 堤 徳郎氏  |            |
|              | 42人                              |           | 28人        |
| ・押し花アート      | 10月23日(日)、11月13日(日)              | 講師 綿引 啓子氏 |            |
|              | 20人                              |           | 30人        |
| ・マンドリン コンサート | 10月29日(土)                        | 14:00～    | 55人(定員50人) |
|              | 「懐かしの昭和ラブソディ」 演奏 ラ・ジュネス マンドリンクラブ |           |            |
| ・貝がら万華鏡      | 10月30日(日)、11月20日(日)              | 講師 堤 徳郎氏  |            |
|              | 22人                              |           | 18人        |

- ・秋の木の実で工作「森のゆかいな仲間たち」  
11月5日(土)、11月19日(土) 講師 大城 繁雄氏  
7人 15人
- ・楽しい植物学入門講座「植物はエライ!」  
11月12日(土)、11月26日(土)  
講師 浜口 喜夫氏、浜口 悦子氏  
9人 23人
- ・特別ギャラリートーク「昆虫から見る地球温暖化」  
11月23日(水) 講師 佐々木 泰弘氏  
19人
- ・ギャラリートーク 11月3日(木)、11月27日(日) 担当学芸員  
48人 34人

5. アンケート結果 アンケート回収枚数 99枚(複数回答有)

- ・ 展覧会を知ったのは?
  - ・ポスターによって 14人
  - ・ちらしによって 25人
  - ・広報によって 13人
  - ・インターネット 8人
  - ・新聞によって 6人
  - ・雑誌・タウン誌 4人
  - ・テレビ・ラジオによって 2人
  - ・人から聞いて 20人
  - ・博物館・図書館にきてみて 10人
  - ・その他 6人
- ・ 今まで博物館に来たことがありますか。
  - ・よくくる 17人
  - ・何度か来たことがある 60人
  - ・あることは知っていたが、来たことはなかった。 11人
  - ・あることを知らなかった。 13人
- ・ あなたのお住まいは?
  - ・水戸市内 66人
  - ・水戸市外 20人
  - 水戸市外(ひたちなか市、石岡市、那珂市、日立市、鉾田市、他)
  - 東京都(荒川区、杉並区)
- ・ どのような交通手段でいらっしゃいましたか。
  - ・車 64人
  - ・電車 10人
  - ・バス 5人
  - ・歩き 13人
  - ・バイク 2人
- ・ 性別
  - ・男 32人
  - ・女 49人
- ・ 年代
  - ・10代 7人
  - ・20代 9人
  - ・30代 3人
  - ・40代 19人
  - ・50代 14人
  - ・60代 24人
  - ・70代以上 21人

## 特別展「昭和ラブソディ」を見ての感想

- ・呉服屋から西部ストアになった経緯が初めて分かった。
- ・本当にすべてが懐かしかった。
- ・知っているものがたくさん展示されていて、楽しくみられた。
- ・展示解説がわかりやすかった。
- ・レトロモダンと純喫茶好きには、たまらない企画だった。
- ・喫茶店のマッチ、手ぬぐいのデザインが素敵だった。
- ・当時、スーパーを開店するために、外国まで視察に行く必要があったと聞いて感激した。
- ・水府うちわの復刻を望みたい。
- ・スーパーと喫茶店の展示が良かった。
- ・前回(昭和浪漫)よりバージョンアップして、さらに懐かしさが増した。
- ・街のにぎわいを取り戻したい。
- ・3Fの童話をヘッドフォンで聞きたかった。
- ・珈琲を味わいたかった。
- ・平成20年生まれだが、「昭和レトロ」が大好きで、満足した。
- ・この展覧会を見るまでは、西部ストアは西武鉄道関係の店と思っていたし、ジンマートも伊勢甚関係とは思っていなかった。
- ・子供のころあったお店が写真で見られて、嬉しかった。

## 博物館に対しての要望

- ・建物の中が、わかりづらい。
- ・もつと照明を明るくしてほしい。
- ・博物館を独立した形で、新しくしてほしい。
- ・全体をもつと広くしてほしい。
- ・地下から上の階に上がる表示をもつとわかりやすくしてほしい。
- ・いろいろな表示が貼ってあるが、あちこちにあってわかりづらい。
- ・駐車スペースを広くして、もっと駐車台数を増やしてほしい。

報告事項(3) 令和4年度博物館事業の実施状況について（令和5年2月8日現在）

【I 資料の収集について】

1 寄贈資料（寄贈者名は敬称略）

(1) 自然部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	昆虫標本	約 1,868	仲山欣一
2	雑誌「新昆虫」	36	蔵田騎一
3	エナガの巣	1	浜口喜夫, 浜口悦子
4	恐竜等の化石	10	非公表

(2) 歴史部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	中田利彦氏寄贈資料 (写真・冊子)	84	中田利彦
2	水浜電車の改札パンチ	2	吉田潤一
3	水浜電車 市内回数乗車券(三拾回)	1	川崎糸子
4	戦中・戦前の紙幣・硬貨	5	玉川里子
5	水戸藩士武道関係資料	6	鈴木健夫
6	石河明善書〔煙暖簷間無景明～〕 他	3	長山安宏, 長山行伸
7	小林敬文氏関係資料	8	横山恵美子
8	軽音楽ヒット愛唱集等歌謡資料 他	5	富田淳一
9	映写機及びフィルム等関連機材	41	戸田巧
10	宮本信氏関係資料	59	宮本光枝
11	禮法要項	1	齋藤科子
12	鮭の留網漁で使った鈴	1	石川弘子
13	東京オリンピック関連新聞記事	7	井坂照夫
14	小作収入帳 他	3	清水邦明
15	明治～昭和初期の書籍	6	中田利彦
16	信号レンズ(茨城鉄道沿線で使用されたもの)	3	菊地隆夫
17	拓本〔水府流水術指南石川先生墓偈〕	1	栗田直行
18	飯盒〔ペリリュー島にて拾得されたもの〕	1	清宮千雅子
19	水浜電車車両模型	1	堤一郎

### (3) 民俗部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	額 洗心 (飛田穂洲), 額 宣其得 (昭和7年秋 珂水柊書)	2	鈴木洋子
2	電気アイロン (ナショナル普及型, 木箱付き)	1	雨谷淳子
3	電気アイロン (東芝電気アイロン, 木箱付き)	1	富田淳一
4	ラーメンのどんぶり ほか	7	吉村賢治郎

### (4) 美術部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	絵画 福地靖作 「秋風に左の頬を吹かれをり」	1	白坂文男

### 2 寄託資料 (寄託者名は敬称略)

部門	資料名	点数	寄託者
歴史	日露戦役従軍日記	1	茨木啓介
	海野家関係資料	9	川井富美子

### 3 取得資料

部門	資料名	点数
歴史	軍馬岩文之碑	1
	内原仲坪の庚申講関係資料	9

## 【Ⅱ 資料の保存について】

### 設備等の修繕

修繕箇所	内容
防火シャッター	バッテリー交換
ハロン消火設備	3月中旬に交換予定

## 【Ⅲ 資料の展示・活用について】

### 1 常設展

部門	テーマ	期 間
自然	水戸の生きもの	通 年
歴史	テーマ1 『大日本史』編纂と水戸藩 テーマ2 戦争と水戸のまち	通 年
民俗	大正ロマン 大店と子どもたち	通 年
美術	水戸の美術Ⅰ テーマ1 近現代の水戸の洋画界 テーマ2 近代の日本画 ー山水を描くー	令和4年6月11日～ 7月3日
	水戸の美術Ⅱ テーマ1 染色家・中村光哉 テーマ2 萩谷セン喬	令和4年9月10日～ 10月2日
	水戸の美術Ⅲ テーマ1 水戸藩のお抱え絵師 テーマ2 明治の洋画家 五百城文哉	令和4年12月10日～ 令和5年1月9日

### 2 教育普及事業

#### (1) 学校連携事業

##### ① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
むかしの道具の実体験講座 と博物館見学	7	小学校 7	414	小学3年生
博物館見学	2	小学校 1	3	
		中学校 2	57	
博物館実習	1	大学 1	3	
合 計	10		477	

##### ② 学校への資料の貸出

部 門	校数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	4	高等学校 3	戦争関連資料（手榴弾，艦砲弾破片，焼夷弾，千人針，日章旗等）
		大学 1	
民俗部門	1	特別支援学校 1	むかしの道具（火のし，炭火アイロン，ちゃぶ台，箱膳，草履等）
合 計	5		

## (2) 一般向け事業

### ① みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
「石河明善日記」に見る家族	12月3日	栃木敏男氏	24人
「石河明善日記」をよむ －安政期の藩情を中心に－	12月10日	久信田喜一氏	25人
合 計			49人

### ② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	4月24日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	19人
夏の昆虫観察会	逆川緑地	7月23日	佐々木泰弘氏	22人
秋の植物観察会	逆川緑地	10月8日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	17人
冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	1月14日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	15人
野鳥観察会	大塚池	2月4日	後藤俊則氏	17人
合 計				90人

### ③ その他の講座

講 座 名	期 日	講 師	対 象
令和4年度基本研修第1部課程 前期研修「水戸の歴史」	4月13日, 14日	藤井達也	令和4年度新規採用職員 77人
常陸大宮市文書館 第13回文書館 カレッジ「南北朝内乱と茂木氏 －戦乱を生き抜いた東国武士－」	5月28日	藤井達也	一般 270人
「水戸の空襲」	8月4日	藤井達也	下大野高齢者大学受講生 30人
茨城大学人文社会科学部 「日本古代中世史Ⅰ」	12月18日	藤井達也	茨城大学学生 35人
源氏物語女人絵巻 参 －春の夜の禁断の恋 朧月夜－	1月13日	坂本京子	五軒女性教養講座 20人
合 計			432人

### (3) ぴ～すプロジェクト

#### ① わたしは戦争を忘れない ―戦争と子どもたち―

日 時：令和4年8月2日（火） 10:00～12:00

8月15日（月） 10:00～12:00

講 師：小菅次男氏，柏俊子氏，檜山正義氏，篠原吉宗氏

会 場：みと文化交流プラザ 6階大会議室

参加者数：2日 87人，15日 66人

#### ② 「水戸・東京の高校生が伝える戦争・空襲―あの日と今日、これからをつなぐ―」

東京大空襲・戦災資料センターとの共催により，Zoom ウェビナーによるリアルタイムのオンライン開催で実施した。水戸・東京の高校生がそれぞれの地域の空襲体験記や戦争にまつわる詩を朗読するとともに，戦争体験者，オンラインによる参加者も交えて語り合うことで，戦争の実態を学び，体験の継承を考える機会を提供した。

開催前の7月23日（土）には，参加する高校生に対し，水戸・東京両方の空襲を経験した戦争体験者（93歳）の話を聞き，舞台俳優による朗読指導を受けるワークショップも開催した。

日 時：令和4年8月9日（火） 13:00～16:00

会 場：水戸…水戸中央教会（水戸市大町），水戸工業高等学校

東京…戦災資料センター 映像講話室（東京都江東区）

朗読者，戦争体験者以外の一般視聴者は，Zoom を利用したオンラインによる参加

参加者数：朗読者（高校生）水戸10人・東京8人，戦争体験者1人，

一般視聴者 30回線

### (4) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業

#### ① 水戸市立博物館資料調査・研究集録 第3集『石河明善日記 第四巻』発行予定

刊行部数：300部（うち販売予定部数160部）

#### ② 石河明善日記解説定例会

19回開催見込み

### 3 資料の貸出等

#### (1) 資料の貸出（学校を除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
自然部門	2	東海村立図書館 水戸まちづくりの会	昆虫標本・岩石標本他 22点 サケ剥製標本 2点
歴史部門	1	大洗幕末と明治の博物館	水浜電車関係資料 16点
美術部門	1	茨城県近代美術館	辻永作品，付属品(額)，写真 140点

(2) 写真・画像使用の許諾（資料貸出に伴うものを除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
美術部門	1	印刷物掲載 1	・辻永「うめ」 1点 (茨城県近代美術館友の会会報誌「游美102号」)
民俗部門	1	研究・講座等 1	・写真「オープン当日のレイクランドの賑わい」他 4点 (昭和40年代水戸市内の市街地状況調査)
歴史部門	21	研究・講座等 1	・昭和11年水戸市航空写真（弘道館上空） 1点 (弘道館講座)
		書籍等掲載 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸山写真 他 5点 (『常陽藝文』2022年7月号)</li> <li>・横山大観写真 1点 (東京新聞連載記事「近代茨城のポートレート」)</li> <li>・水戸城下絵図（天保12年以降） 1点 (『江戸の庶民から武士まで 200年家系図をつくる本』（旬報社）)</li> <li>・「朝の増発電車に乗り込む学生たち」 1点 (『常磐大学高等学校創立100周年誌』他)</li> <li>・水府浪士追討絵図 1点 (大石学編『幕末の水戸藩と弘道館』(仮)(戎光洋出版))</li> <li>・石河明善日記 1点 (『玉造史叢』第62集)</li> <li>・常陸水戸城下近郊之図 1点 (『ふるさと日立検定公式テキストブック改訂版』)</li> <li>・水戸城三階櫓古写真 1点 (茨城大学教育学部附属幼稚園PTA会報『ぶらんこ』第91号)</li> <li>・大砲「奇」写真 1点 (『水戸藩の近代後期(仮題)』)</li> <li>・満蒙開拓青少年義勇軍募集ポスター 1点 (株式会社ラーンズ発行 高校生向け教材)</li> <li>・写真「横山大観肖像」 1点 (『人物日本史 近世・近代編』(中央公論新社))</li> <li>・「大工町を通る水浜電車(昭和36年)」 1点 (茨城新聞 鉄道150周年連載記事)</li> <li>・水戸絵図（享保元年～宝暦9年） 1点 (『五浦論叢』29号)</li> </ul>

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門		印刷物掲載 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬王院本堂の画像 1点 (茨城県立歴史館企画展パンフレット等)</li> </ul>
		その他 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偕楽園古写真絵葉書 他 86点 (偕楽園魅力向上デザインホームページ)</li> <li>・偕楽園関連絵葉書 20点 (偕楽園開園180年記念パネル展「偕楽園のいまとむかし」展)</li> <li>・写真「横山大観肖像」 1点 (テレビ朝日「じゅん散歩」)</li> <li>・水戸市及び三浜全図(昭和10年) (毎日新聞公式サイト)</li> <li>・「終戦直後の水戸駅前」 (共同通信社企画)</li> <li>・「昭和32年水戸駅前の交換駐車場で停車している水浜電車」(『水戸百年』掲載) 他 8点 (フレーム切手シート)</li> </ul>

## 協議事項(1)

### 特別展「那珂川ヒストリー ―水と共に生きた人々―」の開催について

#### 1 名称

特別展「那珂川ヒストリー ―水と共に生きた人々―」

#### 2 開催趣旨

水戸市内を流れる那珂川は、那須岳に源流を発し、本流の長さ 150 kmにも及ぶ、茨城県内でも屈指の規模を誇る河川です。「水の出入口」という意味を持つ「水戸」の地は、この那珂川と関わりの深い地域でした。

豊富な水量を持つ那珂川は、古代から近代に至るまで、流域を行き来する道として機能するとともに、材木・年貢米及び流域の特産品を運ぶ通路としても活用されてきました。那珂川で捕れる鮭を始めとする水産資源は、人々の生活を潤すとともに、水戸地域の名産品としても広く知られていました。その一方で、那珂川は大雨による洪水によってしばしば氾濫し、近隣地域に甚大な被害をもたらすこともありました。流域の人々は、こうした特性を理解し、水害に備えつつも、生活に恵みをもたらす那珂川と共生してきました。

このように、水戸及び周辺地域の人々の生活と大きく関わりあってきた那珂川ですが、その歴史を体系的に紹介する機会はこれまでほとんどありませんでした。そこで、本展覧会は、那珂川と水戸及び周辺地域に住む人々との共生の歴史を紹介することで、那珂川の持つ豊かな歴史を再認識することを目的とします。

#### 3 会期

令和5年2月4日（土）～3月12日（日） 32日間  
月曜休館

#### 4 会場

水戸市立博物館 4階・3階展示室

#### 5 関連行事

##### (1) 特別講演会

「下野から見た那珂川水運・内川廻し ―江戸・太平洋への百姓のまなざし―」

日 時：2月25日（土）13:30～15:00

会 場：みと文化交流プラザ6F大会議室

講 師：平野哲也氏（常磐大学人間科学部教授）

## (2) 講演会

### ① 「那珂川の鮭漁 ー竹留漁と留網漁を中心にー」

日 時：2月19日（日）13：30～15：00

会 場：中央図書館3階視聴覚室

講 師：鈴木祐志氏（水戸まちづくりの会副代表）

### ② 「水戸城下の水害史 ー水害記録を読み解くー」

日 時：3月11日（土）13：30～15：00

会 場：中央図書館3階視聴覚室

講 師：藤井達也（担当学芸員）

## (3) ワークショップ「オリジナル掛け軸を作ろう」

日 時：3月4日（土）13：30～15：30

会 場：中央図書館3階視聴覚室

講 師：高村晴幸氏（博物館ボランティア）

## (4) ギャラリートーク

日 時：2月5日（日）、2月23日（木・祝）、3月12日（日）

各日とも11：00～11：30／14：00～14：30

会 場：4階・3階展示室

講 師：藤井達也（担当学芸員）

## 協議事項(2) 令和5年度博物館の主な事業計画（案）について

### 運営方針に基づく令和5年度の主な事業計画（案）

#### (1) 特別展等の開催

- ア 特別展・企画展等を年3回開催して、郷土の歴史や文化、自然に対する新たな視点からの興味・関心を呼び起こし、市民文化の向上に努める。
- イ 展覧会の関連行事など博物館外での活動を実施して、展示の補完に努める。

- ・令和5年度展示予定（いずれも仮称）

企 画 展「夏休みこどもミュージアム 昆虫の不思議」（自然部門）

秋季特別展「中村光哉の染色」（美術部門）

冬季特別展「水戸城主江戸氏の戦国時代」（歴史部門）

#### (2) 収藏品等による常設展の開催

- ア 調査・研究・展示等に活用するため、郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料の収集に努める。
- イ 新たに収集した資料の公開を積極的に行うなど、常設展の展示内容の充実に努める。

- ・常設展の展示替え：5月下旬～6月上旬（全部門）

9月・12月・令和5年3月（美術部門）

#### (3) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業の推進

- ア 「石河明善日記」の解読作業を進めるとともに、第5巻（21～25冊）の刊行に努める。

- ・解読定例会：19回開催
- ・茨城県立歴史館での委託販売を継続実施

#### (4) 学校等との連携事業の推進

- ア 小学校等の校外学習としての博物館見学を受け入れて、むかしの道具の実体験講座を実施するほか、出前授業や資料の貸出を行うなど、学校教育との連携に努める。

- ・見学・体験講座の受入れ、出前授業、資料の貸出：学校からの要請に応じ実施
- ・博物館実習生の受入れ：受入れ態勢の状況により検討

**(5) 各種教育普及事業の推進**

ア 戦争体験者による語り部事業「わたしは戦争を忘れない」を実施し、平和の大切さを伝えるとともに、記憶が風化しないよう記録に努める。

イ 自然観察会等、博物館外での活動を実施し、市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

- ・「わたしは戦争を忘れない」：継続開催
- ・自然観察会：年5回開催
- ・みと歴史講座：年3回開催

## 参考

### ○水戸市立博物館条例

昭和55年3月28日

水戸市条例第21号

改正 昭和56年3月27日条例第20号

平成4年9月22日条例第27号

平成24年3月28日条例第15号

注 平成24年3月から改正経過を注記した。

#### (趣旨)

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

#### (設置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称 水戸市立博物館

位置 水戸市大町3丁目3番20号

#### (職員)

第3条 水戸市立博物館（以下「博物館」という。）に館長、学芸員、事務職員その他必要な職員を置く。

#### (観覧料等)

第4条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、水戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が期間を定めて特別の展示会を催したときは、教育委員会が定める観覧料を徴収することができる。

2 教育委員会が特に必要があると認めるときは、前項の観覧料を減額し、又は免除することができる。

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

#### (損害賠償等)

第5条 入館者は、博物館の施設、設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、速やかに原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

#### (博物館協議会)

第6条 法第20条の規定に基づき、水戸市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織等)

第7条 協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のうちから、教育委員会が任命する15人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

4 委員長は、協議会の会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平24条例15・一部改正)

(会議)

第8条 協議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

(昭和55年教委規則第11号で昭和55年6月15日から施行)

付 則 (昭和56年3月27日条例第20号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例による改正後の水戸市立博物館条例第6条第2項の規定により任命された委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。

付 則 (平成4年9月22日条例第27号)

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

付 則 (平成24年3月28日条例第15号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。